



市議会5月定例会に提案

5月28日に開会した市議会5月定例会に提案した主な内容をお知らせします。

条例案件

吹田市介護保険条例の一部改正

介護保険法施行令の一部改正に伴い、所得の少ない第1号被保険者の保険料率を引き下げるものです。

予算案件

国のマイナポイント事業実施に伴う予約窓口の業務委託、戸籍附票・住民記録システムの改修など

総額 4910万円

高齢者・障がい者施設のオンライン面会用端末購入を支援

同施設のオンライン面会を進めるためにタブレットやミニサーバーなどの購入費用を補助。

総額 357万円

介護施設・障害福祉サービス等事業所への支援

新型コロナウイルス感染症発生時などに、介護施設などが必要なサービスを継続するためのかかり増し経費の補助など。

総額 7769万円

特別支援学校などの臨時休業に伴う放課後等デイサービス利用料の増加分などを補助

5656万円

商店街などの新型コロナウイルス感染症予防物品購入費などを補助

2526万円

国民健康保険料減免制度の拡充

新型コロナウイルス感染症の影響で、収入が減少した同保険被保険者などが対象。

2億円

すいたんのおやつ 学生考案のデザインを採用

市と大阪成蹊大学が協力し、市のイメージキャラクター「すいたん」を使った商品デザインを考案。学生が考えたデザインの一つを「すいたんのおやつ」の新パッケージに採用しました。「すいたんのおやつ」は、パンと雑貨のお店は「すま(昭和町)、市役所地下1階ローション、Inforest すいたんなどで販売。 固障がい福祉室(☎6384・1348) ☎6384・1031。



クッキーの味は抹茶、いちご、アーモンドなどの8種類。350円から。



市長コラム No.59

こもれび通り

後藤圭二

だからこそ



コラムの音声版はこちら

「連日帰宅が深夜に及んでいましたが、ようやく午後9時ごろには帰れるようになりました」。保健所の職員の言葉から、対応に追われ、心身とも限界まで追い込まれた過酷な日々がうかがえました。

「ようやくの学校再開。会えない間、子供たちがずっと心配でした」。毎日、児童・生徒たちと向き合い成長を近くで見守る教師にとっても、休校は精神的に厳しいものでした。

「もちろん感染リスクは高いです。一部隊員が感染しても救急機能を落とさないよう万全を期しております」。消防職員の凛とした現状報告の姿に強い覚悟を感じました。

医療、福祉、教育、消防など。これらは「公の仕事」であり、そこで働く人々もまた、社会の基盤を支えるエッセンシャルワーカーです。新型コロナウイルスの感染リスクに立ち向かい、市民の命と暮らしを守る使命をもって働く姿勢に私は敬意を表します。

激務に疲弊し、折れそうな心に届く「ありがとう」「ご苦労さま」の声。「その言葉で何とか踏ん張れた」と彼らは言います。みなさまからの激励の声と期待を糧に、これからも一同「公務員だからこそ」という心意気でこの難局に挑み続けて参ります。

